

# 第3章 交通利用ニーズ調査・分析

## 3-1. 一般アンケート

### 1) 調査方法等

#### (1) 調査の目的と対象

- ・目的：日常における市の公共交通の利用実態や、公共交通に対する満足度、意見などについて聴取し、今後の公共交通の役割や将来の方向性を示す計画策定するために実施。
- ・対象：山北地区を除く65歳以上の市民3,000人を住民基本台帳から無作為抽出。上記対象者の世帯で65歳未満の方が同居している場合、同封した別紙の調査票に回答を依頼。

#### (2) 調査方法

- ・配布：個別に郵送
- ・回収：調査機関へ個別で郵送

#### (3) 配布期間

- ・発送：平成21年10月16日(金)
- ・締切り：平成21年10月26日(月)

#### (4) 配布物

- a 依頼文
- b 調査票（：あなた用(65歳以上)、65歳未満用）  
（返信用封筒）

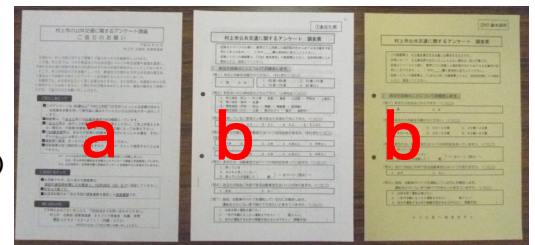


図3-1. 配布物一覧

#### (5) 質問構成、配布・回収数

質問構成及び回収率は以下のとおり。

表 3-1. 質問構成と回収率

	あなた用(65歳以上)	65歳未満用
質問構成	1.自動車・バイクの保有状況 2.自動車免許の有無 3.自由に利用できる自動車・バイクの有無 4.運転継続年意志 5.外出目的別の頻度 6.外出内容 7.路線バスの利用実態 8.路線バスに対する要望	1.自動車免許の有無 2.運転継続意志 3.外出目的別の頻度 4.外出内容
回収率	・配布数(A) ...3,000通 ・回収数(B) ...1,486通 ・回収率(B/A)...49.5%	・配布数(A) ...3,000通 ・回収数(B) ...780通 ・回収率(B/A) ...26.0%

## 2) 調査結果

### あなた用アンケート結果概要

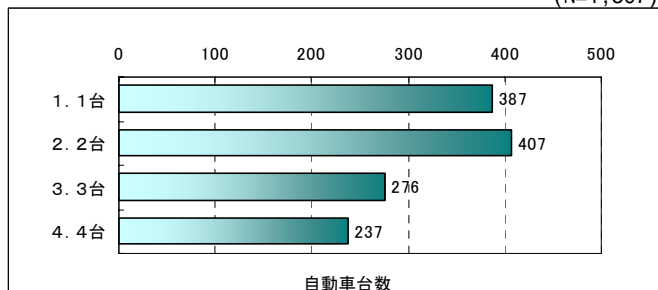
#### 1. 自動車・バイクの保有状況

『自動車またはバイクが何台ありますか。』(問4)

##### 【自動車】

(N=1,307)

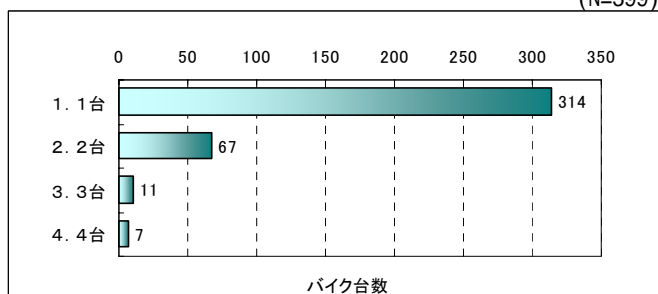
- ・ 1家に2台所有している家が最も多く、全体の約30%が2台以上の車を保有している。



##### 【バイク】

(N=399)

- ・ 1家に1台所有している家が最も多い。

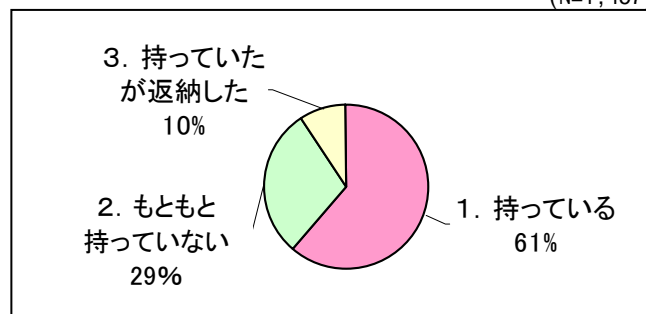


#### 2. 自動車免許の有無

『あなたは、自動車またはバイクの免許証を持っていますか。』(問5)

(N=1,457)

- ・ 約6割の人が運転免許を保有している。
- ・ 返納した方は1割である。

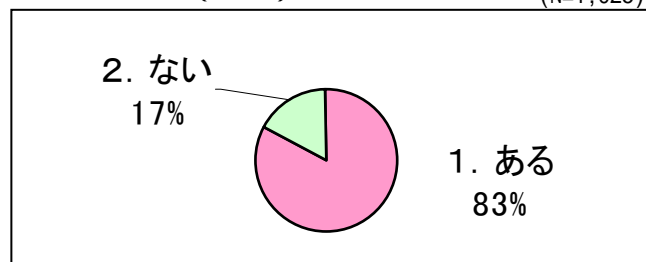


#### 3. 自由に利用できる自動車・バイクの有無

『自分で自由に利用できる自動車やバイクがありますか』(問6)

(N=1,025)

- ・ 約8割の家庭で、自動車またはバイクを所有している。

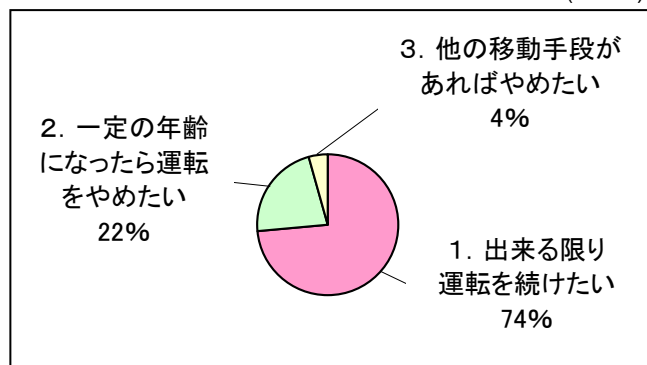


#### 4. 運転継続の意志

『運転をどのくらいまで続けて行きたいと考えていますか』(問7)

(N=861)

- ・約3割の人が、やめたいと答えている。

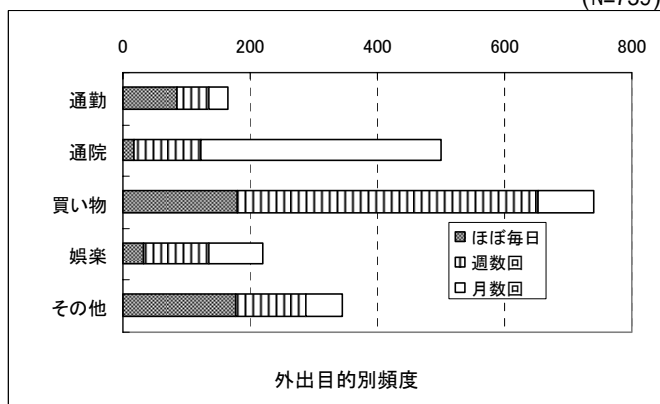


#### 5. 外出目的別の頻度

『各外出目的の頻度を教えて下さい。』(問8)

(N=739)

- ・通勤目的はほぼ毎日、買い物目的、娯楽目的は週数回、通院目的は月数回という頻度が最も多い。



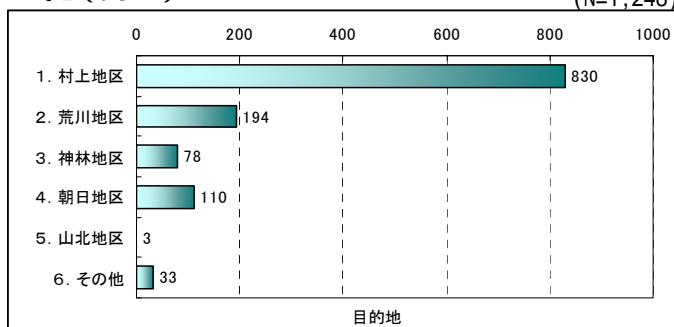
#### 6. 外出内容

『最も多い外出目的の内容を教えてください。』(問9)

(N=1,248)

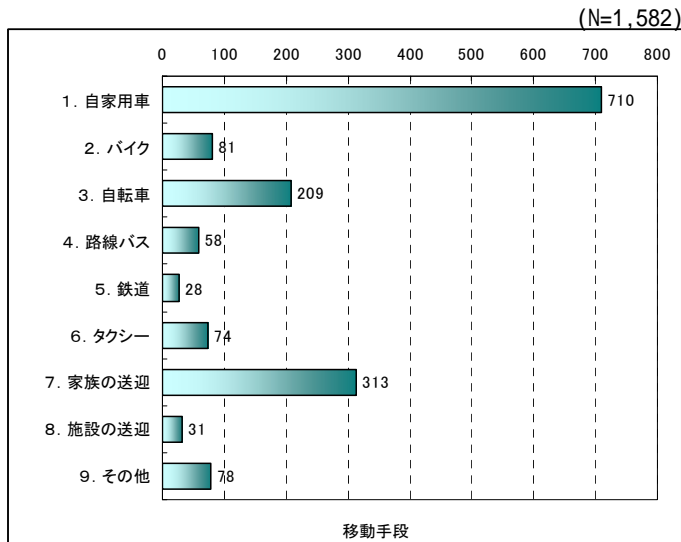
(目的地)

- ・村上地区への外出が最も多い。



(移動手段)

- ・自家用車の使用が約半数と最も高く、次いで家族の送迎、自転車の順。
- ・路線バスは全体の3%程度。

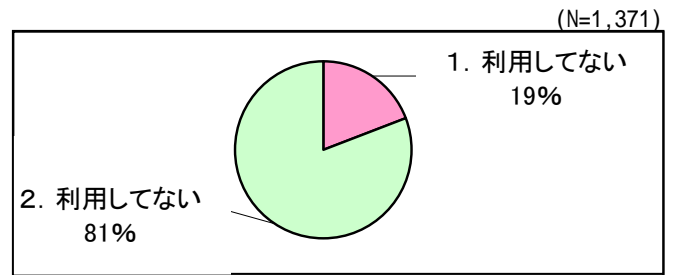


## 7. 路線バスの利用実態

『過去1年以内で、村上市内で1度でも利用したことがある移動手段と、その利用回数、所要時間、利用する理由を移動手段ごとにそれぞれお答えください。利用しない方は、その理由を教えてください。』（問10）

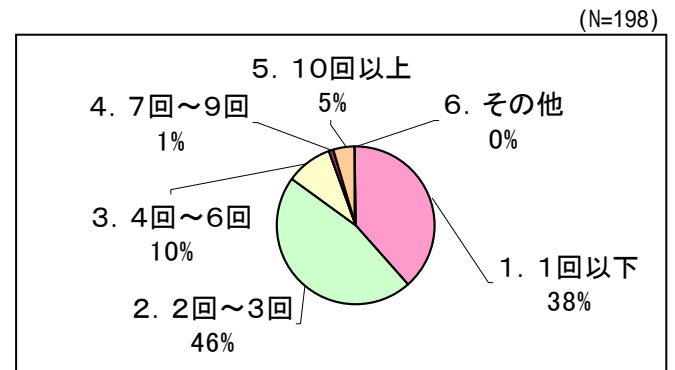
### 7-1. 利用有無

- ・約2割の人が路線バスを利用している。



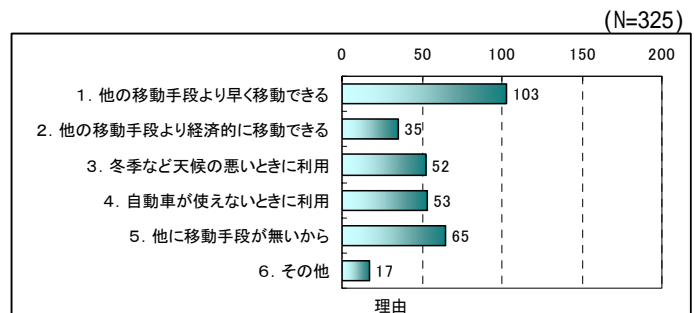
### 7-2. 利用回数（1ヶ月あたり）

- ・約4割の人が月に1回以下乗車。
- ・週に1回以上乗車している割合は約15%。



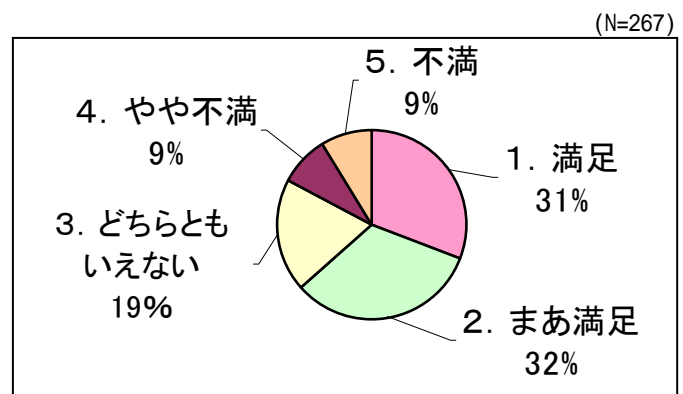
### 7-3. 利用する理由（複数回答）

- ・「他の移動手段よりも早く移動ができる」と答えた人が最も多く、次いで「他に移動手段が無いから」。



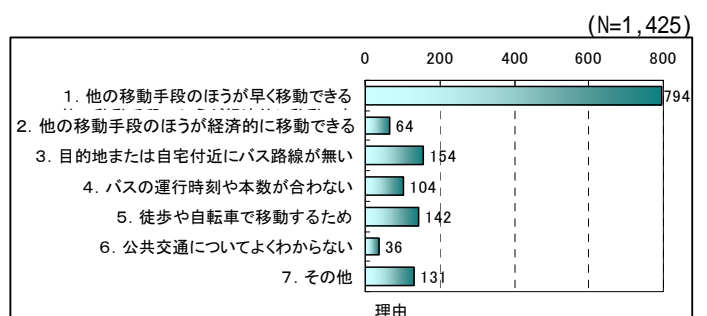
### 7-4. 便利さ

- ・「満足」、「まあ満足」との回答を合わせると約6割が満足している。



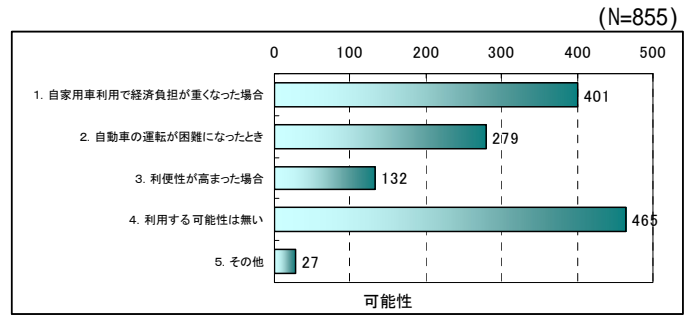
### 7-5. 利用しない理由（複数回答）

- ・他の移動手段のほうが早く移動できるからとの回答が最も多い。



7 - 6 . 利用する可能性( 複数回答)

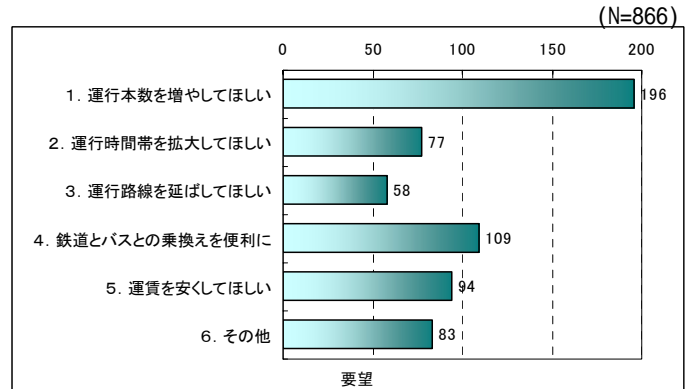
・『利用する可能性は無い』との回答が最も多く、次いで『自家用車利用で経済負担が重くなった場合』の順。



8 . 路線バスに対する要望

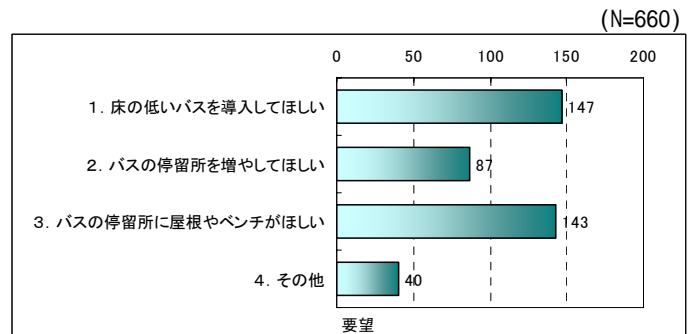
『路線バスの運行状況について要望をお聞かせください。』(問 11) ( 複数回答)

・バス運行本数の増加に対する要望が最も高く、次いで、鉄道とバスとの乗換を便利にという要望の順。



『バスの車両形態やバスの停留所について要望をお聞かせください。』(問 12) ( 複数回答)

・「床の低いバスの導入」と、「停留所への屋根・ベンチの設置」についての要望が高い。

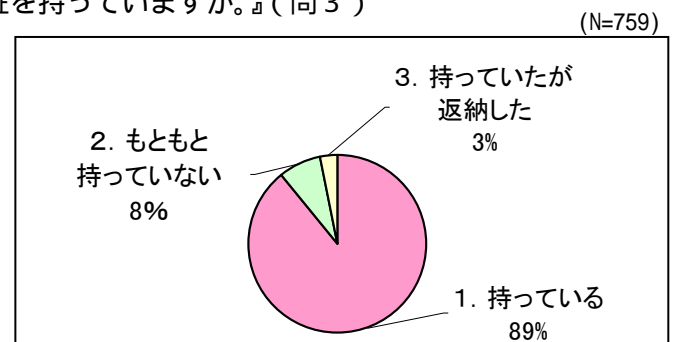


65 歳未満用アンケート結果概要

1 . 自動車免許の有無

『あなたは、自動車またはバイクの免許証を持っていますか。』(問 3)

・約 9 割の人が運転免許を持っている。

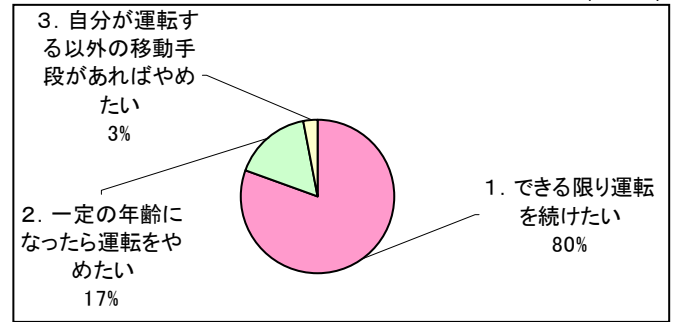


## 2. 運転継続の意志

『運転をどのくらいまで続けて行きたいと考えていますか』(問5)

(N=678)

- ・約3割の人が、やめたいと答えている。

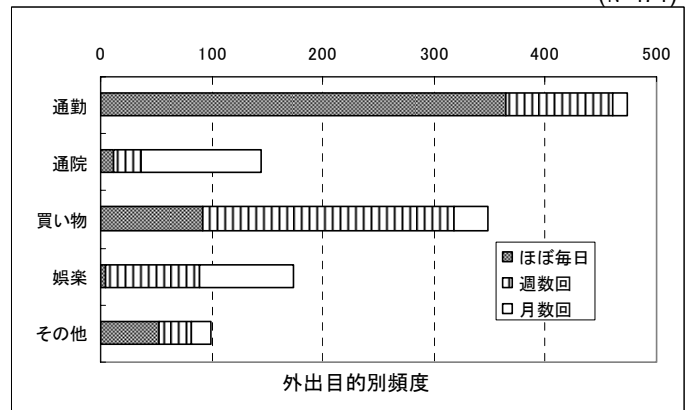


## 3. 外出目的別の頻度

『各外出目的の頻度を教えて下さい。』(問8)

(N=474)

- ・通勤目的は「ほぼ毎日」、買い物目的及び娯楽目的は「週数回」、通院目的は「月数回」という頻度が最も多い。



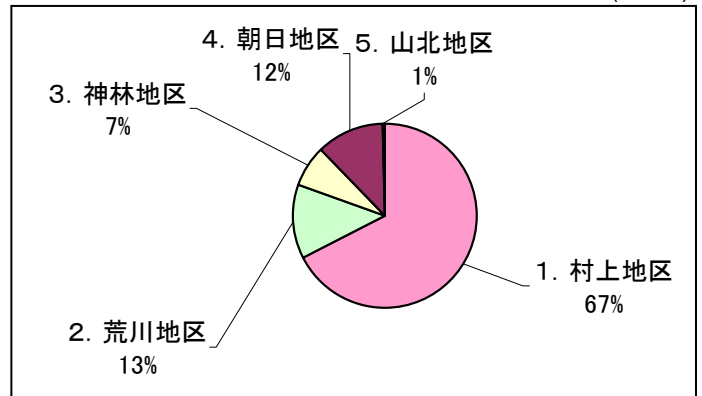
## 4. 外出内容

『最も多い外出目的の内容を教えてください。』(問9)

(N=611)

(目的地)

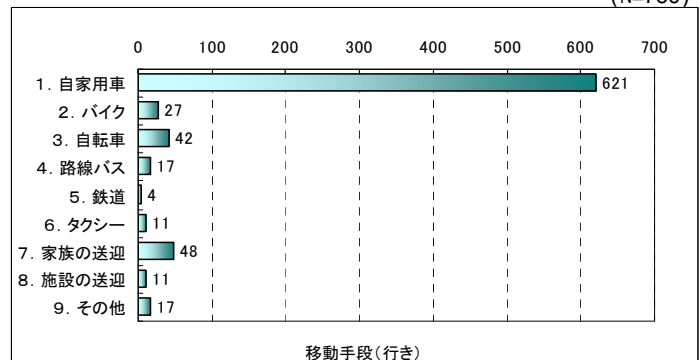
- ・村上地区への外出が最も多い。



(移動手段)

- ・自家用車の使用が約8割と最も多い。
- ・路線バスは全体の2%程度。

(N=786)



## 3-2. 高校生アンケート

### 1) 調査方法等

#### (1) 調査の目的と対象

- ・目的；日常における公共交通の利用実態と満足度、意見などを聴取し、公共交通の改善策を把握する。
- ・対象；村上市内の高校に通学する全ての生徒

表 3-2 . 村上市内の各高校の生徒数

	1年生 (人)	2年生 (人)	3年生 (人)	4年生 (人)	合計 (人)
村上高等学校	231	237	233	—	701
村上桜ヶ丘高等学校	241	233	235	—	709
荒川高等学校	103	104	95	23	325
村上中等教育学校	78	76	78	—	232
合計	653	650	641	23	1,967

#### (2) 調査方法

- ・配布：学校へ直接協力依頼(学校から生徒に対し調査票を配布)
- ・回収：学校が調査機関へ直接郵送

#### (3) 配布期間・配布物

- ・依頼：平成 21 年 10 月 13 日(火)
- ・締切り：平成 21 年 10 月 26 日(月)
- ・配布物：a 依頼文 b 調査票

#### (4) 質問構成

1. 通学・帰宅時刻
2. 通学・帰宅の移動手段
3. 公共交通の便利さ(公共交通通学者対象)
4. バスへの要望(公共交通通学者対象)
5. バスを利用しない理由(公共交通通学者以外対象)

#### (5) 回収率

回収率は以下のとおり

表 3-3 . 高校ごとの配布・回収数と回収率

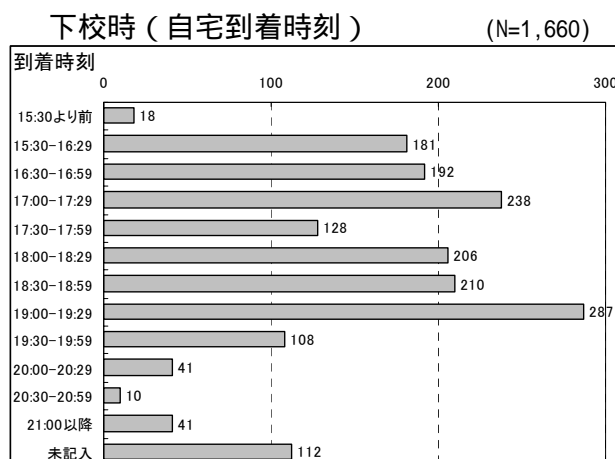
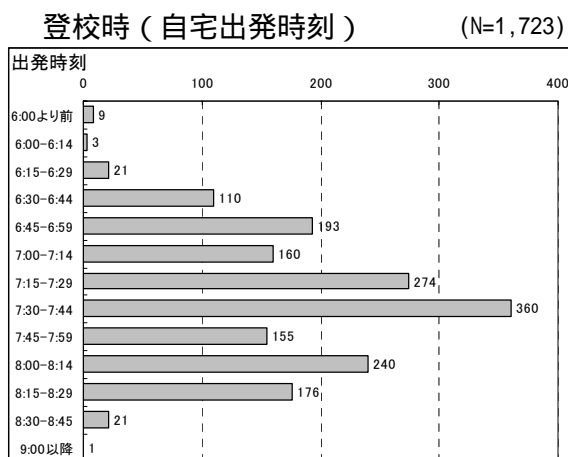
	配布数	回収数	回収率
村上高等学校	701	653	93.2%
村上桜ヶ丘高等学校	709	685	96.6%
荒川高等学校	325	202	62.2%
村上中等教育学校	232	220	94.8%
合計	1,967	1,772	90.1%

## 2) 調査結果

### 1. 出発・帰宅時刻

『通学・帰宅の時刻について教えてください。』（問3）

- ・ 6時以前または6時台に自宅を出発する学生が約2割存在する。
- ・ 自宅到着のピーク時刻は19時前後である。



### 2. 登校・帰宅時の移動手段

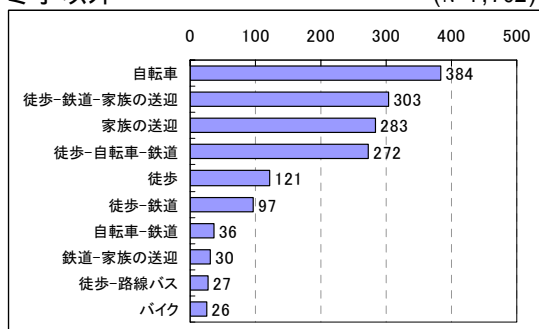
『通学・帰宅の手段を順番どおりに教えてください。（組み合わせ）』（問4）

- ・ 冬季以外は「自転車のみ」が最も多く、次いで、「徒歩・鉄道・家族の送迎」の順。
- ・ 冬季は「家族の送迎」が最も多くなり、「徒歩・鉄道・家族の送迎の割合」で全体の3分の2を占める。
- ・ 公共交通では鉄道利用が多く、バス利用は少数である。

登校時の移動手段の組み合わせ（上位10位まで）

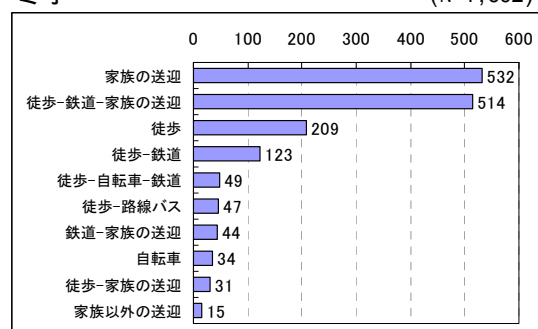
・ 冬季以外

(N=1,702)



・ 冬季

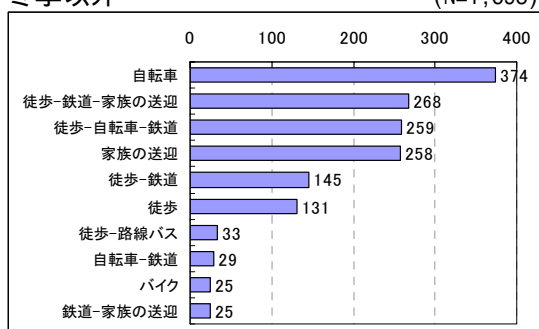
(N=1,692)



下校時の移動手段の組み合わせ（上位10位まで）

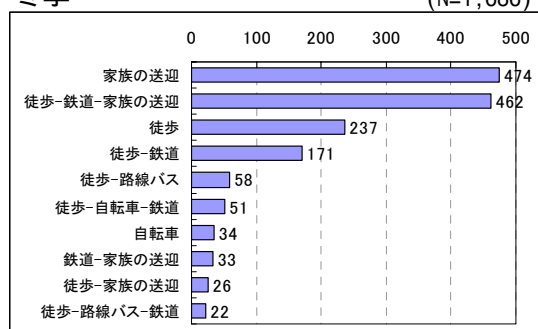
・ 冬季以外

(N=1,698)



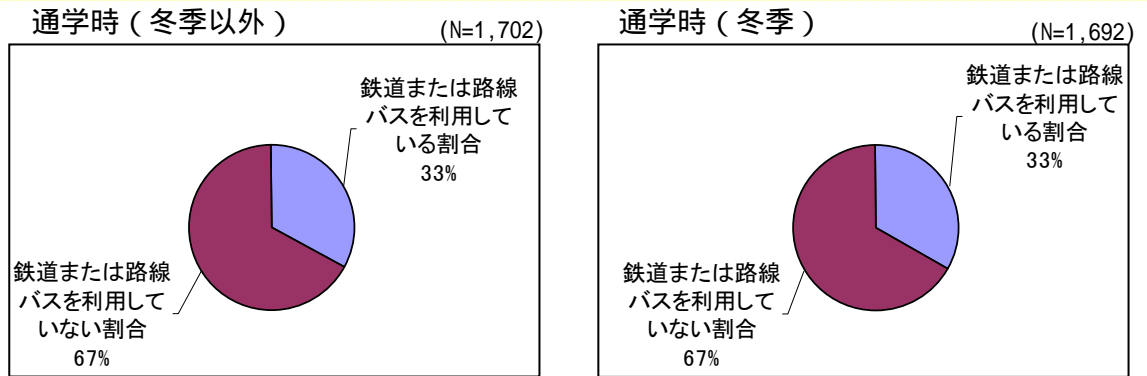
・ 冬季

(N=1,686)





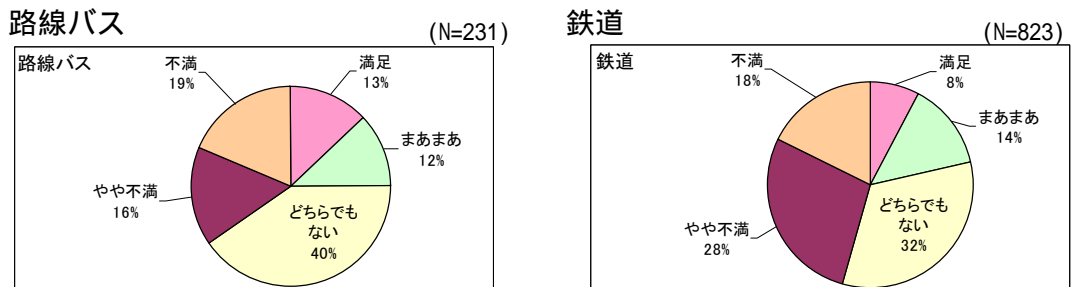
- ・鉄道または路線バスを利用して登校する割合は約3割。
- ・季節による利用者数の変化は見られない。



### 3. 公共交通の便利さ（公共交通通学者対象）

『交通手段の便利さについてどのように感じていますか。』（問5 - 1）

- ・路線バス、鉄道ともに、「やや不満」、「不満」と回答した割合のほうが高い。



### 4. バスへの要望（公共交通通学者対象） 複数回答

『バスの車両形態やバスの停留所について要望をお聞かせください。』（問5 - 2）

- ・バス停留所の増設、屋根、ベンチの設置についての要望が多い。



### 5. バスを利用しない理由（公共交通通学者以外対象） 複数回答

『その通学方法を選択した理由を教えてください。』（問6）

- ・公共交通利用の必要性が無いとする理由が最も多い。
- ・料金の高さ、運行便数、乗り継ぎ等、既存のバスに対しての理由のほか、バスそのものが無いとの理由もあった。

